

# 平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月31日

上場会社名 マナック株式会社  
 コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉之原 祥二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 岡本 道俊  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東

TEL 084-954-3330

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,752	—	5	—	30	—	18	—
20年3月期第1四半期	2,150	—	170	—	198	—	120	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2.23	—
20年3月期第1四半期	14.37	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	11,343	—	8,745	—	77.1	—	1,042.44	
20年3月期	11,326	—	8,713	—	76.9	—	1,038.56	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,548百万円 20年3月期 8,596百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,900	△2.1	50	△75.9	110	△58.6	60	△66.9	7.15
通期	8,200	3.6	110	△61.5	240	△37.3	140	△37.2	16.69

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	8,625,000株	20年3月期	8,625,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	235,403株	20年3月期	235,253株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第1四半期	8,389,600株	20年3月期第1四半期	8,394,782株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発し、国際的にエネルギー価格や食料価格の高騰を要因として、景気減速基調が強まり、昨年以降、経済は後退局面に入りつつあります。

また、国内の設備投資は企業収益の鈍化も予想されることから、若干控えめな投資姿勢が続くものと推測され、厳しい環境が継続するものと思われまます。

化学業界におきましては、原油価格の急騰により、ナフサを中心に基礎原料価格が上昇し、併せて燃料も高騰、製造コストの負担割合がより増大し、営業利益に与える影響も、自助努力による改善等のみでは追いつかない状況となっており、収益面は非常に厳しい状況で推移しております。

このような環境の下、当社は、活力ある企業風土を醸成し、将来に向け、更なる総合力を発揮できるよう組織改革を行い、新事業の拡大と新しい事業領域への展開を進めております。

また、既存事業面では、採算性改善を進め、更なる品質向上に努めております。

当第1四半期の売上高は1,752百万円、営業利益は5百万円、経常利益は30百万円、第1四半期純利益は18百万円と上記の厳しい経済環境をまともに受けたかたちとなりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の変動状況

当第1四半期末の総資産は11,343百万円となり、前会計年度末に比べ17百万円増加いたしております。流動資産は7,086百万円となり、4百万円増加いたしております。固定資産は4,256百万円となり、12百万円増加いたしております。

有形固定資産は減価償却費の増加により、2,985百万円となり、104百万円減少いたしました。投資その他の資産は1,263百万円となり、117百万円増加いたしております。

当第1四半期末の負債合計は2,597百万円となり、前会計年度末に比べ15百万円減少いたしました。流動負債は2,111百万円となり、25百万円減少いたしました。

当第1四半期末の純資産の部は、8,745百万円となり、前会計年度末に比べ32百万円増加いたしております。

この結果、自己資本比率は、前会計年度末の76.9%から77.1%となり、0.2%増加いたしております。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、59百万円の収入となりました。これは、主に仕入債務の増加によるものであります。投資活動に使用された支出は59百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済及び配当金の支払により、184百万円の支出となりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ184百万円減少し、2,037百万円となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、世界経済の減速懸念、原油を中心とした基礎原料価格の高騰、急激な外国為替相場の変動等により、先行きは不透明感が強まるものと思われまます。化学業界におきましても、引き続き厳しい経営環境が続くものと考えられ、これまで以上に経営の効率化・合理化が求められます。当社におきましても、他企業との差別化を図ると同時に、積極的な事業領域の拡大に取り組んでまいります。

当社の業績予想につきましては、平成20年5月16日に公表いたしました、平成21年3月期の業績予想は変更しておりません。

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理  
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ・ 会計処理基準に関する事項の変更

1. 当会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期会計期間から適用しております。製品及び商品の評価基準については、低価法から原価法（収益の低下による簿価切下げの方法に変更しております。）、その他の棚卸資産の評価基準については、原価法から原価法（収益の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

## 5. 四半期財務諸表

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	575,886	660,967
受取手形及び売掛金	3,048,309	3,020,085
有価証券	1,061,997	1,061,564
たな卸資産	1,856,625	1,721,929
その他	543,582	617,311
流動資産合計	7,086,401	7,081,858
固定資産		
有形固定資産	2,985,752	3,089,812
無形固定資産	7,872	8,329
投資その他の資産	1,263,300	1,146,145
固定資産合計	4,256,925	4,244,286
資産合計	11,343,327	11,326,145

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,217,553	1,161,600
短期借入金	170,000	270,000
未払金	285,133	282,902
その他	439,285	422,767
流動負債合計	2,111,971	2,137,270
固定負債		
長期借入金	112,500	130,000
退職給付引当金	198,995	200,223
役員退職慰労金引当金	64,429	64,429
その他	109,817	80,952
固定負債合計	485,742	475,604
負債合計	2,597,714	2,612,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	4,930,319	4,978,709
自己株式	△87,440	△87,379
株主資本合計	8,548,228	8,596,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	197,384	116,586
評価・換算差額等合計	197,384	116,586
純資産合計	8,745,612	8,713,269
負債純資産合計	11,343,327	11,326,145

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,752,707
売上原価	1,393,470
売上総利益	359,236
販売費及び一般管理費	354,224
営業利益	5,012
営業外収益	
受取利息・受取配当金	12,450
その他	17,393
営業外収益合計	29,844
営業外費用	
支払利息	1,101
その他	3,388
営業外費用計	4,490
経常利益	30,366
特別利益	9,979
特別損失	6,562
税引前四半期純利益	33,783
法人税、住民税及び事業税	37,817
法人税等調整額	△22,762
四半期純利益	18,727

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	33,783
減価償却費	136,273
受取利息及び受取配当金	△14,080
支払利息	1,101
棚卸資産の増加額	△134,695
未払費用の増加額	131,963
その他	△79,945
小計	74,399
利息及び配当金の受取額	14,028
利息の支払額	△980
損害賠償金支払額	△5,299
法人税等の支払額	△23,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,108
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△63,809
その他	4,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,050
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△17,500
短期借入金の返済による支出	△100,000
自己株式の取得による支出	△64
配当金の支払額	△67,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,723
現金及び現金同等物の係る換算差額	17
現金及び現金同等物の増減額	△184,648
現金及び現金同等物の期首残高	2,222,532
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,037,883

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
売上高	2,150,170
売上原価	1,652,847
売上総利益	497,322
販売費及び一般管理費	326,865
営業利益	170,456
営業外収益	30,032
営業外費用	1,616
経常利益	198,872
特別利益	—
特別損失	2,661
税引前四半期純利益	196,211
税金費用	75,606
四半期純利益	120,605

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	196,211
減価償却費	128,384
受取利息及び受取配当金	△12,093
支払利息	779
棚卸資産の増加額	△72,539
未払金の減少額	△75,128
その他	△58,390
小計	107,222
利息及び配当金の受取額	12,002
利息の支払額	△589
法人税等の支払額	△242,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△32,558
その他	△3,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△27,500
自己株式の取得による支出	△947
配当金の支払額	△42,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,453
現金及び現金同等物の増減額	△229,853
現金及び現金同等物の期首残高	2,416,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,186,552